

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成26年8月14日(2014.8.14)

【公表番号】特表2013-532801(P2013-532801A)

【公表日】平成25年8月19日(2013.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2013-044

【出願番号】特願2013-523153(P2013-523153)

【国際特許分類】

F 03B 13/16 (2006.01)

【F I】

F 03B 13/16

【手続補正書】

【提出日】平成26年6月30日(2014.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

水塊の波の水力を使って、水塊の波に対してチューニングされるプラットフォームからエネルギーを生成するシステムであって、

曲面を有するプラットフォームであって、前記波の波自然周波数に対して調整可能な第1の自然周波数を有する第1の可動マスを形成するプラットフォームと、

第2の可動マスを保持する振り子であって、前記第2の可動マスは、前記第1の自然周波数及び前記波自然周波数に対して調整可能な第2の自然周波数を有するとともに、前記プラットフォームに保持される連結点、及び端点を有し、前記端点及び前記第2の可動マスは、曲面を定義する曲線軌道に沿って移動可能である、振り子と、

前記マスが互いに及び前記水塊に対して移動する時に前記マスの少なくとも一つの前記自然周波数のチューニングを調整するためのアクティブチューニングシステムと、

磁場装置とコイル装置とを有する一対の相補的エネルギー抽出装置を備えるエネルギー抽出システムであって、前記コイル装置に対する前記磁場装置の移動が前記コイル装置での電流の流れを生成する前記エネルギー抽出システムと、

を有し、

前記磁場装置は前記曲面の一方によって保持され、

前記コイル装置は前記曲面の他方によって保持される

ことを特徴とする、エネルギーを生成するシステム。

【請求項2】

前記プラットフォームの前記曲面は、前記相補的エネルギー抽出装置の一方を保持する少なくとも一つのトラックを含み、

前記振り子の前記端点は、少なくとも一つのレールに沿って移動する少なくとも一つのガイドを有し、前記少なくとも一つのガイドは前記相補的エネルギー抽出装置の他方を保持する、

ことを特徴とする請求項1に記載のエネルギーを生成するシステム。

【請求項3】

前記プラットフォームは船体と釣り合いマスとを有し、前記釣り合いマスは前記船体に

対して位置調整可能であることを特徴とする請求項1に記載のエネルギーを生成するシステム。

【請求項 4】

浮遊する前記プラットフォームが前記水塊の一部を変位させる部分を有し、
前記第2の可動マスと前記第1の可動マスとが重さを有し、アルキメデスの原理が、増
加した変位によって前記第2の可動マスの重さが増えることを許容することで、電気密度
とエネルギーとが増える、

ことを特徴とする請求項1に記載のエネルギーを生成するシステム。

【請求項 5】

前記アクティブチューニングシステムは、前記マスが互いに及び前記水塊に対して移動
する時に、前記第1の可動マスの前記第1の自然周波数のチューニングを調整するために
、前記プラットフォーム内に複数のパラストタンク、及び、前記タンク間でパラストを移
動させるメカニズムを有することを特徴とする請求項1に記載のエネルギーを生成するシ
ステム。

【請求項 6】

前記振り子の連結点は磁気軸受けであることを特徴とする請求項1に記載のエネルギー
を生成するシステム。

【請求項 7】

水塊の波の水力を使って、水塊の波に対してチューニングされるプラットフォームから
エネルギーを生成する方法であって、

曲面を有するプラットフォームであって、前記波の波自然周波数に対して調整可能な第
1の自然周波数を有する第1の可動マスを形成するプラットフォームを移動させるために
波の水力をを利用するステップと、

振り子が、前記第1の自然周波数及び前記波自然周波数に対して調整可能な第2の自然
周波数を有する第2の可動マスを保持することと、曲面を定義する曲線軌道に沿って移動
するために、前記プラットフォームによって保持される連結点、及び端点を有することと
、を許容するステップと、

前記マスが互いに及び前記水塊に対して移動する時に前記マスの少なくとも一つの自然
周波数のチューニングを調整するステップと、

磁場装置とコイル装置とを有する一対の相補的エネルギー抽出装置を用いてエネルギー
を抽出するステップであって、前記コイル装置に対する前記磁場装置の移動が前記コイル
装置での電流の流れを生成する、ステップと、

前記磁場装置を前記曲面の一方によって保持するステップと、

前記コイル装置を前記曲面の他方によって保持するステップと、

を有することを特徴とする、エネルギーを生成する方法。

【請求項 8】

前記第1の可動マスの前記第1の自然周波数に対する、前記第2の可動マスの前記第2
の自然周波数をチューニングするステップと、

生成されるエネルギーを増やし、前記生成されたエネルギーを制御するために、前記波
の前記波自然周波数に対する前記第1の可動マスの前記第1の自然周波数をチューニング
するステップと、

を有することを特徴とする請求項7に記載のエネルギーを生成する方法。

【請求項 9】

浮遊する前記プラットフォームによって水の一部を変位させるステップと、

前記第2の可動マスと前記第1の可動マスとが重さを有し、アルキメデスの原理が、増
加した変位によって前記第2の可動マスの重さが増えることを許容することで、電気密度
とエネルギーとが増えるステップと、

を有することを特徴とする請求項7に記載のエネルギーを生成する方法。

【請求項 10】

前記プラットフォームの曲面は前記相補的エネルギー抽出装置の一方を有する少なくと
も一つのレールであり、

前記振り子は前記レールをはめ込む取り付け装置を有し、前記取り付け装置は曲面を有

し、前記取り付け装置は前記相補的エネルギー抽出装置の他方を有する、
ことを特徴とする請求項7に記載のエネルギーを生成する方法。